



## 食を必要とする “1人”のために



特定非営利活動法人フードバンクTAMA  
〒191-0062 日野市多摩平5-3-2  
プレジャーガーデン豊田式番館101  
TEL:080-6814-3657  
Email: foodbank.tama@gmail.com

### 子どもに安全で美味しい食を：賞味期限は必ず点検！

フードバンク活動に参加して1年。私自身、この間、何が変わったかと言えば、以前は気にも留めなかつた食品の「賞味期限」に関心が強まつたことだ。スーパーに買い物へ行っても、買いもしないのに容器や包装をひっくり返し、賞味期限をチェックするのが習性となつてしまつた。

フードバンクは食品を扱う奉仕活動。食品製造、販売、流通業者とまともに比較はできないものの、当然ながら共通部分が多い。

食の安全管理、特に「賞味期限」には神経をつかう。フードドライブ、個人や企業から寄贈を受ける食品は「賞味期限が2か月以上先のもの」とお願いしている。

でも、さまざまな事情から期限切れのものが時には混在する。集まつた食品をひとつひとつ調べ、期限切れのもの、開封されたもの、劣化しているものを取り除くのもメンバーの大変な仕事だ。

昨年の日野高校文化祭で提供していただいたフードドライブ食品

「賞味期限」「消費期限」のあり方については論議があり、最近は食品ロス解消の目的から「賞味期限切れ」の商品を扱う専門店も登場している。

しかし、フードバンクが支援する食品で子供たちが万が一、食中毒を起こしでもしたら一大事である。賞味期限に余裕があつても、夏場の暑い季節には、お米などの食品は鮮度が落ちないよう冷温管理設備も必要となる。

フードバンクは決して簡単な活動ではない。それでも、安全で、できるだけ美味しい食品を届け、子供たちが少しでも喜んでほしいー。この気持ちを大切にしてフードバンクTAMAは活動を続けている。



### 今は食べられん人も一杯いはるのに、あなたちはぜいたくすぎる

私がフードバンクTAMAの活動に参加するようになったのは、一昨年、日野市ごみゼロ推進課の講演会にサポートとして参加していた時、友人からフードバンクTAMAの活動のお手伝いをしてみたら、と言われたのがキッカケです。

どのようなお手伝いができるかも全く分からぬまま、他のボランティア活動の時間を調整しながら、食品倉庫への搬入や仕分け作業、シンポジウムのお手伝い等に参加してきました。

昭和30年代の始め、小学校の給食で好き嫌いの多かつた私は食べるのがとても苦痛でした。ある日の夕食でそのことを母に伝えたら、「今は食べられん人も一杯いはるのに、あなた達はぜいたくすぎる！」と姉妹で叱られました。

60年経つ今も、子どもの貧困問題がある意味深刻なことを活動に参加し、様々な情報で知りました。また、大量に食品が廃棄処分される食品ロスにも心が痛みます。

私一人では何の力もありませんが、1人でも多くの友人・知人に声をかけ、実情を語り、フードバンクTAMAの活動に協力していただける方を増やしていきたいとの思いで、地道に行動しています。

子ども支援プロジェクトの報告でお母さん方からの「いただいた食品がまるで宝箱を開ける様に皆で楽しみながらいただきました」とのお声に接し、微力ながらボランティアの活動に参加させていただいている私こそ感謝です。この楽しい活動が健康で長く続けられるように今後も頑張っていきたいと思う今日この頃です。

市川 之恵（ボランティア：日野市在住）

## 食品企業様や個人の方から多くの食品が届けられました。ありがとうございました。

受贈▶ 主食 : 5022 キロ 飲料 : 2555 キロ 缶詰 : 2111 キロ 野菜 : 3022 キロ 菓子等 : 1601 キロ 調味料 : 1211 キロ

## 2018.10 ~ 2019.3 の間、児童福祉施設等へ寄付した食品の種類と量

提供▶ 主食 : 5091 キロ 飲料 : 2542 キロ 缶詰 : 2300 キロ 野菜 : 2983 キロ 菓子等 : 1518 キロ 調味料 : 1324 キロ

## 母子家庭のお母さんと子どもたちの日常

日頃からたくさんの食料品のご寄付をいただき感謝しております。私たちの施設は、母と子どもが生活しています。0歳から高校生までが生活できる場所です。今は乳幼児が多く住んでいます。

現在、日本国内の母子家庭の数は 123 万人で、母子家庭の相対的貧困率は 54.6%、半数が経済的に困っている状況にあります。

多くの母親が不安定な非正規雇用で、最低賃金での雇用が多いのが現状です。離婚したとたんに経済的な苦境に陥ります。将来の子どものための費用である養育費も、きちんと払われることは少ないのです。

そのような中、お母さんは必死に働いています。子ども達もお母さんに協力して家の手伝いをします。お母さんが会社の残業の時は家で留守番をします。そんな時にみなさんからいただいたパンやおやつが、どんなに子ども達の心とおなかをほっとさせてくれたでしょうか。

利用者からの声を少し紹介します。「いただいてうれしいです。冷凍野菜は使い勝手がよいです。(30 代母) / お菓子とパンを子ども達は喜んでいます。(20 代母) / 子どもは魚の缶詰が好きです。(40 代母)」などなど。

また、施設内で無料塾を開講しており、子ども達におにぎりを提供しています。小学生から高校生まで 42 人が通ってきています。勉強するとみんなが楽しみにしている「おにぎりタイム」があります。普段の学校のことやゲームのことなど様々な話で盛り上がります。鮭やたらこやふりかけなど、たくさんの種類を食べて欲しいという塾長の配慮で、小さいおにぎりがたくさん並びます。このおにぎりが食べられるのは、フードバンク TAMA さんのお米の寄付のおかげです。

私たちの利用者の口に届くまでには、多くのボランティアさんが関わっているのだと思います。今後もそのようなボランティアさんの気持ちを大切にしていきたいと思います。

横井 義広（八王子市児童福祉施設長）

## 学習支援と食事提供は必要不可欠！

当団体は小・中学生を対象としたボランティア講師による無料塾活動をしています。

週に一度フードバンク TAMA さんからのお野菜や食品を生徒家庭に配布もさせていただいております。

ひとり親で多子世帯の家庭も多いのでとても喜んでくれます。また生徒からは「食品配布の日は、もらった食材を使った夕飯になるので今までにないメニューが増えて嬉しい！」という声も聞けて、多様な食材提供により家庭の食育環境も改善されています。

学習支援と食事提供は必要不可欠です。生徒たちは部活や学校帰りでお腹をすかせています。

空腹の状態で勉強をするのは集中力にも影響します。また塾後の食事タイムが楽しみで通っている子もいます。生徒の中にはコンビニのごはんに詳しい子もいます。できたての手作りの食事を提供しながら子供たちの教育と食育を支えることがとても大事です。

夏と冬には合宿もあり 5 キロのお米がすぐになくなります。手弁当で活動しておりフードバンクさんからのご支援がなければ食事提供はできません。中学生は信じられないくらいの食欲で、毎回作った料理が一瞬でなくなります…

フードバンク TAMA 様、フードバンクを支援している皆様本当にありがとうございます。

仁藤 夏子（日野すみれ塾代表）

